

■特集

VR/AR/MR 教育への応用最前線(1号)

VR/ARは教育実装の時代へ——東京大学VR教育研究センターの概要をととして: 廣瀬通孝, 1, 6

VR/ARを用いた2つの教育利用研究——空間認識の支援と体験的な活動における活用: 瀬戸崎典夫, 1, 12

医療教育分野へのVR/AR技術応用の現在と未来: 小山博史, 1, 20

XR(仮想現実VR、拡張現実AR、複合現実MR)による臨場感と主体性をもたらす医用画像にもとづく医療・医学・看護教育: 杉本真樹/志賀淑之/一ノ澤斉子/本間典子/新城健一/谷口直嗣, 1, 28

VRを用いた生活援助技術の学びと今後の発展: 宮崎剛司, 1, 34

看護教員がつくるVR教材の小児看護教育への応用——子どもと母親の様子を観察し、プレパレーションツールを作成する: 合田友美/西田千夏, 1, 42

VR参考映像集: 長谷海平/李凱/松村雅代, 1, 48

指定規則改正前の今こそ!——未来をみすえたカリキュラムを考える(2号)

【対談】地域包括ケア時代の看護基礎教育とは——指定規則の改正をチャンスに、自由に、地域に開かれた学校へ: 山田雅子/池西静江, 2, 90

地域のニーズを反映した柔軟なカリキュラム開発——領域横断型カリキュラムにチャレンジしよう: 池西静江, 2, 100

領域横断科目の検討と運営——シラバスの検討から授業、実習の実際まで: 阿形奈津子, 2, 108

1年生から卒業年度まで、地域で学ぶカリキュラム——「しめの医療と看護」と「しめの看護実習」: 濱川孝二, 2, 114

あらためて、カリキュラム評価の意義と方法を整理する: 吉田文子, 2, 122

「地域包括ケア」にむけた教育ってなに?(3号)

地域・在宅看護教育の現状に足りないもの——地域包括をキーワードとして: 棚橋さつき, 3, 180

地域で活躍する看護職を育てる教員としてできること——

病院、地域で働いた教員の経験から: 浅井直美, 3, 187

地域に貢献するたくましい看護師の育成 まちとともに学び、まちとともに育つ——まずは訪問看護師の活動を参加観察することから始める: 加納佳代子, 3, 194

地域社会とともにある看護師の未来——コミュニティナースの活動の可能性: 奥朋子, 3, 202

看護と介護の連携を学生時代から学ぶ体制の構築を: 益田恵子/豊田百合子/高見清美, 3, 208

実習でともに育つ学生と教員——学生・実習指導者・教員の「それぞれのリアリティ」(4号)

学生の存在を、ともに学び育つ仲間としてとらえ直す: 古都昌子/鈴木佳代, 4, 264

それぞれのリアリティから考える——状況についての感覚的なとらえ: 古都昌子, 4, 268

「状況についてのそれぞれのリアリティ」から考える事例: 大谷則子, 4, 276

看護学実習のリアリティ——教員の実践と成長: 鈴木佳代, 4, 284

看護学実習のリアリティ——実習指導者の実践と成長: 鈴木真由美, 4, 290

授業はプレゼンだ!(5号)

「伝えること」の重要性をいつもの授業で伝える: 近藤麻理, 5, 348

教員に必要な授業をする力、発表する力: 新保幸洋, 5, 353
プレゼンテーション力で授業を変える方法: 八幡紘芦史, 5, 361

教育や実践を豊かにするプレゼンテーション——「プレゼンテーションを学ぶワークショップ」の概要: 佐瀬竜一, 5, 368

【座談会】プレゼンテーションの準備を授業にどう活かすか——「プレゼンテーションを学ぶワークショップ」に参加して: 佐瀬竜一/松浦佳代/小倉久美子/松澤亜希子/八反田希望, 5, 376

まず、自分をいたわるために——マインドフルネス&セルフ・コンパッション(6号)

医療者にこそ届けたい、マインドフルネス&セルフ・コンパッション:岸本早苗, 6, 430

教員も自分をいたわってこそ、学生がいいききと学べる環境に——看護基礎教育とマインドフルネス&セルフ・コンパッション:秋山美紀, 6, 438

バーンアウトを防ぎ、ケアの質を高めるために——臨床とマインドフルネス&セルフ・コンパッション:佐藤寧子, 6, 446

マインドフルネス&セルフ・コンパッション研修を実施してみよう:台野悦子, 6, 454

マインドフルネス&セルフ・コンパッション体験エクササイズ
の紹介:岸本早苗, 6, 460

あらためて協同学習を理解する(7号)

協同学習を理解すれば、みなアクティブに学べる:安永悟, 7, 510

協同学習は協同教育の中核的技法:関田一彦, 7, 517

「協同学習を用いた看護教育研究会」の意義とその発展に向かうための課題:緒方巧, 7, 524

協同学習を学ぶためのカリキュラムづくり——久留米大学医学部における実践:小松誠和, 7, 532

県内すべての看護専門学校で進める協同学習の導入:知念榮子, 7, 539

看護専門学校における協同学習導入の一年を振り返る:遠藤奈美子/田中みゆき/石丸綾佳/菅谷清美, 7, 548

シミュレーション教育 虎の巻(8号)

第1部 なぜ、シミュレーションなのか

看護学教育のパラダイム転換——シミュレーション学習による「深く考え、行動する」看護者の育成に向けて:岡谷恵子, 8, 600

第2部 効果的な実践に向けて

シミュレーション教育に求められる基本的な授業設計:野島敬祐, 8, 610

【座談会】シミュレーション教育だからできること——東京医科大学基礎看護学領域統合実習 学内シミュレーションの実践から:阿部幸恵/伊藤綾子/清水典子/渡邊裕見子/石田美紀, 8, 618

それぞれのシミュレータのポテンシャルを生かした実践:鈴木由美子, 8, 624

第3部 学校一丸となって取り組む

学生が自ら学ぶための環境づくり——「看護師として働く教育」をめざして:大山晶子/岡田拓也/當房紀子/吉岡幸,

8, 628

プロジェクト学習を中心としたカリキュラム改革:古澤千鶴/平野ゆき子, 8, 634

シミュレーション教育力を向上させる学習会 5年間の成果:大川宣容, 8, 642

第4部 学校・教育のあり方を問い直す

【座談会】ファシリテーションの道はすべてに通じる——組織をこえて学び続ける経験から:村上友美/宮下ルリ子/宇野友美/北西富恵/辻陽子/内藤知佐子, 8, 648

学内全領域をつなぐミッションタウンと、地域に開かれたシミュレーション教育センター:藤野ユリ子, 8, 656

これからの看護教育の話をしよう:阿部幸恵, 8, 666

看護教育における効果的なOSCEの実施(9号)

看護基礎教育におけるOSCE 10年の実践と将来への課題:中村恵子, 9, 720

【座談会】OSCEの効果とその課題をあらためて考える:西田志穂/山口育子/孫大輔, 9, 726

専門領域を越えて実施するOSCEの実践と展望——共立女子大学看護学部取り組み:西田志穂/中原るり子, 9, 736

OSCE導入の経緯と改善のポイント——フィジカルアセスメントOSCEを例として:広瀬会里/尾沼奈緒美, 9, 744

OSCE教育と経験型学習の気づきから主体的に学ぶ——学びのしくみで学生が変わる:長田晶子, 9, 752

苦手な方こそ! この1冊——ICT導入・活用に一歩踏み出す(10号)

【インタビュー】そもそも、なぜICTを導入するのか——教育界全体の動きから:稲垣忠, 10, 800

教員の業務、大変すぎませんか?——学生が学びやすく、教員が教えやすい環境をつくるために:西村礼子, 10, 810

今までとは少し違う「教育することの楽しさ」の発見——神戸看護専門学校の取り組み:大西安代/迫田貴子, 10, 820

1コマからでもできるICT活用——ウェブアンケートを用いた、学生と教員の双方向の仕組みづくり:友滝愛/柏木公一, 10, 828

ICTを取り入れた授業改善:真嶋由貴恵, 10, 835

学校の枠をこえて、ICTで看護師の教育を支援する——Nursing academiaの取り組み:川島有沙/廣瀬直紀, 10, 846

実習病院と教育機関の関係づくり(11号)

臨地実習で、働く場として選ばれる病院になる——実習病院

と教育機関の連携：桑原安江／半場江利子，11，902

実習指導者と学生の間の「ずれ」を理解する——実習指導事例の振り返りと分析①：半場江利子／田茂井優佳，11，909

臨地実習における学生と教員の「ずれ」を埋める支援——実習指導事例の振り返りと分析②：平井亮／河原宣子／梶谷佳子，11，916

実習指導者と教員の立場から学生の臨床的思考を育む——実習指導事例の振り返りと分析③：半場江利子／桑原安江／平井亮／河原宣子／梶谷佳子，11，924

臨床と基礎教育の間の「ずれ」を埋めるための連携——協働学習会の取り組み：奥野信行，11，930

自ら学び、生きる力を育む——ポートフォリオが照らすそれぞれのキャリア(12号)

【インタビュー】AI時代——さあ人間性と成長心を高める未来教育をはじめよう！：鈴木敏恵，12，978

キャリアを紡ぐポートフォリオ——学生の学びを支えるために：水方智子，12，990

自ら道を切り開く力を身につけるために——日本赤十字秋田看護大学のキャリアデザイン提案集：小野麻由子／夏原和美，12，1000

今の私につながるポートフォリオ——日本赤十字秋田看護大学のキャリアデザイン作成に取り組んで：三浦真紀，12，1008

「生涯学び続ける力」を育むキャリアビジョン実現プロジェクト：守屋有紀，12，1010

未来教育「プロジェクト学習」の導入——看護する喜びを感じて、一生学び続ける看護師を目指して：渡邊和子，12，1020

■ 焦点

リラクゼーションを基礎教育にどのように位置づけるか——学ぶ・活用する(指導する)：小板橋喜久代／柳奈津子／近藤由香／岡田朱民／内山美枝子／箕輪千佳／桐山勝枝／荒木大治／定方美恵子／小山敦代／荒川唱子，10，852

■ 来た、見た、知った

学習と授業を再考し、学生の「学びたい」を支えるために——「アクティブラーニング型反転授業を創る！」公開セミナーに参加して：木村緑，1，52

フィリピン看護学研修をととしての学び——フィリピンにおける看護教育と健康問題への取り組み：原田江美子／栗山美夢／小島菜帆／古澤里沙／若林真美／中西啓介／入

山茂美，3，218

教育を学ぶ立場として、『人生、ただ今修行中』から受け取ったこと：高宮庸司郎，12，1036

■ 特別記事

【インタビュー】現象学者が魅せられた、訪問看護のあまりに豊かな実践——『在宅無限大』著者 村上靖彦先生に聞く：『看護教育』編集室，2，132

どうすれば『論理的に書く・読むスキル』が身につくのか？：福澤一吉，2，138

公開収録「教育実践を研究にするSoTLと研究デザインワークシートのつくり方」——第1部 教育実践を研究にするSoTLとは：佐藤浩章，4，300

公開収録「教育実践を研究にするSoTLと研究デザインワークシートのつくり方」——第2部 研究デザインワークシートのつくり方：佐藤浩章／山上優紀／赤木優也，5，384

学生の「看護師になりたい」を支える教育課程——授業改革からカリキュラム開発へ：水方智子／大谷弘恵／山之内由美／木村緑／坂本鈴子，7，560

VRを活用した「体験学習」で、認知症の理解を深める：『看護教育』編集室，8，678

■ 実践報告

異文化看護をどう教授するか——実習病院の外国人向け医療コーディネーターの看護師と文化人類学講師および看護教員とのコラボレーション授業の試み：中山富子／高橋幸恵／武居尚子／川村三加子／金井美香／岡内真由美／小林香代，6，468

科目「疾病論」におけるコンセプトマップを用いた授業デザイン——学生の効果的かつ効率的な学習の促進をめざして：大串晃弘／根岸千悠／川崎絵里香／大江真人／大山牧子，10，858

血液透析受療者による授業サポートの意義——「生活者」として語ること：程塚京子，12，1028

■ つくって発見！ 美術解剖学の魅力：阿久津裕彦

13. 心臓——1階と2階は別物：1，1
14. 脳幹——その1 目立たなくても脳の主幹です：2，85
15. 脳幹——その2 脳幹から出る脳神経は3種類：3，175
16. 骨盤——脚を動かし、内臓を守る：4，259
17. 骨盤内臓(男性)——体の外まで押し出した内臓：5，343
18. 骨盤内臓(女性)——子宮はひもで支えている：6，425
19. 内耳——骨に埋もれたカタツムリ：7，505
20. 喉頭——飲み込むたびに蓋をする：8，595

21. 縦隔——肺の間には管がたくさん:9, 715
22. 腎臓周囲器官——腹部というより背部臓器!?:10, 795
23. 膀胱周囲器官——胃の後ろは意外にぎやか:11, 897
24. 肺——ふくらんだままのスポンジ風船:12, 973

■NとEとLGBTQ

10. 多様な性についての教育の大切さ:浅沼智也, 1, 65
11. 地域社会に生きるLGBTQ 家族に必要な支援:藤井ひろみ, 2, 157
12. 【対談】看護と教育におけるLGBTQ の今後:藤井ひろみ／浅沼智也, 3, 256

■看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる! 腑に落ちる!:榊原哲也

9. 「安らぎ」としての健康:1, 68
[コラム]〈ケア〉の問いなおして明らかになる、医療者の安らぎ:西村ユミ, 1, 75
10. 『ベナー看護論』の方法論:2, 158
11. 看護技能の5段階の理論:3, 240
12. 巻き込まれつつかわる看護:4, 334

■看護師のように考える コンセプトにもとづく事例集

1. 疼痛・患者教育:畠山有希／奥裕美, 1, 58
2. 機能的能力・安全:松崎紗織／奥裕美, 2, 152
3. 頭蓋内制御 痛みと知覚／コミュニケーション:大森智美／奥裕美, 3, 229
4. 排泄・患者教育・自己管理:鬼木佑佳／奥裕美, 4, 324
5. 認知・感染:池田葉子／奥裕美, 5, 416
6. ガス交換・凝固:森田敦子／前嶋亜希子／奥裕美, 6, 496
7. 体温調節・炎症:松崎紗織／奥裕美, 7, 586
8. 糖制御・感染・炎症:中村加奈子／奥裕美, 8, 704
9. 水と電解質・組織の完全性:前嶋亜希子／奥裕美, 9, 786
10. 排泄・自己管理:佐藤直子／畠山有希／奥裕美, 10, 886
11. 栄養・水と電解質:大森智美／畠山有希／奥裕美, 11, 962
12. 排泄・免疫:畠山有希, 12, 1060

■臨床倫理を映画で学ぼう!:浅井篤

1. 専門家を専門家たらしめるものとは——『英国王のスピーチ』:1, 66
2. 研究における対象の「モノ」化——『シェイプ・オブ・

ウォーター』:2, 150

3. 患者のナラティブに向き合う——『彼女が目覚めるその日まで』:3, 238
4. 自分の余命を知った人たちは——『神様メール』:4, 322
5. プライバシーは罪?——『ザ・サークル』:5, 408
6. 変えられないこと——『世界一キライなあなたに』:6, 492
7. 医学系研究の進め方——『アルジャーノンに花束を』:7, 582
8. ヘルスケア・ロボットとの心の絆——『ベイマックス』:8, 702
9. 先端医療と運命——『わたしを離さないで』:9, 784
10. 人口問題と個人の権利——『セブン・シスターズ』:10, 884
11. パンデミックが起きたら——『感染列島』:11, 958
12. 民族問題と幼い母——『火の山のマリア』:12, 1058

■ティーチング・ポートフォリオ作成講座:栗田佳代子／吉田塁

10. ティーチング・ポートフォリオ第2稿の作成——小林由実さん(神奈川県立保健福祉大学)の第2回メンタリング事例とともに:1, 76
11. ティーチング・ポートフォリオ第3稿の作成——小林由実さん(神奈川県立保健福祉大学)の第3回メンタリング事例とともに:2, 166
12. ティーチング・ポートフォリオの活用と更新:3, 248

■障害や病いとともに学ぶ、働く:瀬戸山陽子

1. 手術による後遺症と入院生活、そして退院後のこと:2, 146
2. 看護系大学での学生生活:3, 224
3. 進路選択:4, 318
4. いま、振り返って思うこと:5, 412

■核心に迫る授業改善 インストラクショナルデザインによる事例検討:平岡斉士

1. アテンションをブリーズしない:4, 306
2. 時間が足りないのは講義をするから!?:5, 396
3. 知識は暗記するものではなく使うもの:6, 476
4. グループワークは人のためならず:7, 576
5. テストは最初から公開すべき:8, 696
6. 学習は応用するまでが学習:9, 776
7. 授業のブロック化はいいことずくめ:10, 878
8. レンガ積みよりペンキ塗り:11, 952

9. お悩み解決の振り返り:12, 1052

■専門看護師とともに考える 実習指導のポイント——昭和大学の臨床教員の立場から

1. 老年看護学領域——その1 概要と指導ポイント:石原ゆきあ, 4, 312, [コラム] 昭和大学における臨床教員制度の概要:大崎千恵子, 4, 316
2. 老年看護学領域——その2 実習における指導の実際:石原ゆきあ, 5, 400, [コラム] 昭和大学における臨床教員の1年間の活動:芳賀ひろみ/大崎千恵子, 5, 406
3. 成人看護学(慢性期) 領域——その1 概要と指導ポイント:柏崎純子, 6, 485, [コラム] 臨床教員の採用条件と必要な能力:渡辺純子, 6, 490
4. 成人看護学(慢性期) 領域——その2 実習における指導の実際:柏崎純子, 7, 568, [コラム] シラバス・実習要項作成の実際:小松崎記妃子, 7, 573
5. 成人看護学(慢性期) 領域——その3 実習における指導の実際(がん看護):立場雅子, 8, 687, [コラム] 実習指導者と臨床教員の連携:三田村裕子, 8, 694
6. 成人看護学(急性期) 領域——その1 概要と指導ポイント:岸邊香住, 9, 768, [コラム] 臨床教員と学部教員との日常的な連携:福地本晴美, 9, 774
7. 成人看護学(急性期) 領域——その2 実習における指導の実際:岸邊香住, 10, 870, [コラム] 臨床教員間の連携:松木恵里/大崎千恵子, 10, 876
8. 小児看護学領域——その1 概要と指導ポイント:井出由美, 11, 943, [コラム] 院内看護業務の調整と同僚や上司との連携:樋口恵子, 11, 948
9. 小児看護学領域——その2 実習における指導の実際:井出由美, 12, 1043, [コラム] 成績評価の実際(成績評価から学生との面談まで):山田真実子, 12, 1048

■医療通訳 in バンクーバー:高橋麻貴子

1. カナダ旅行中に病気になったら:4, 332
2. カナダの看護教育について聞いてみた:5, 415
3. 医師との協働で大切な看護師の advocacy:6, 484
4. カナダ(北米) と日本の薬剤師業務の違い:7, 584
5. 文化で異なる痛みの感じ方:8, 675
6. オピオイド危機とハームリダクション:9, 782
7. カナダの医療制度:10, 863
8. 私が医療通訳者になったわけ:11, 960
9. 医療通訳は言葉と文化の仲介者:12, 1050

■〈教育〉を哲学してみよう:杉田浩崇

1. 教育哲学とは?——「なぞなぞ」から「教える—学ぶ」関係

を考えてみよう:8, 680

2. 教育の主体はだれか?:9, 762

3. 教育的な愛情が覆い隠すもの——〈教育〉の悲劇性:10, 864

4. 主体が立ちあがるとき:アクティブ・ラーニング再考(1):11, 938

5. 主体が立ちあがるとき:アクティブ・ラーニング再考(2):12, 1038

■書評

福澤一吉著『看護学生が身につけたい 論理的に書く・読むスキル』:[評者] 福岡公香, 2, 145

近藤克則著『研究の育て方——ゴールとプロセスの「見える化」』:[評者] 井上智子, 3, 247

藤田愛著『「家に帰りたい」「家で最期まで」をかなえる——看護の意味をさがして』:[評者] 山田雅子, 4, 331

八幡紘史編著『脱・しくじりプレゼン——言いたいことを言うと言わらない!』:[評者] 柳めぐみ, 5, 367

河野あゆみ編『強みと弱みからみた 在宅看護過程+総合的機能関連図』:[評者] 真島久美子, 5, 411

佐々木淳編『在宅医療カレッジ——地域共生社会を支える多職種の学び21講』:[評者] 中村順子, 6, 475

本田美和子・伊東美緒編『ユマニチュードと看護』:[評者] 横井郁子, 6, 483

田久浩志著『統計解析なんかこわくない——データ整理から学会発表まで 第2版』:[評者] 山田眞佐美, 6, 495

前田圭介著『SMARTなプレゼンでいこう!』:[評者] 林千冬, 7, 557

倉茂好匡著『論文・レポートが変わる! 看護学生のための科学的作文レッスン』:[評者] 藤井徹也, 7, 585

前野哲博編『医療職のための症状聞き方ガイド——“すぐに対応すべき患者”の見極め方』:[評者] 木澤晃代, 8, 677

山崎亮著『ケアするまちのデザイン——対話で探る超長寿時代のまちづくり』:[評者] 西村ユミ, 11, 951

高橋平徳・内藤知佐子編『看護教育実践シリーズ5 体験学習の展開』:[評者] 高塚由香里, 11, 961

池西静江・石束佳子・藤江康彦著『学習指導案ガイダンス——看護教育を深める授業づくりの基本伝授』:[評者] 興梠清美, 12, 1035

小瀬古伸幸著『精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにはまず読む本——“横綱級”困難ケースにしないための技と型』:[評者] 片山陽子, 12, 1051

■Movie Guide

『人生、ただいま修行中』:11, 942